

より充実した河川整備と対策

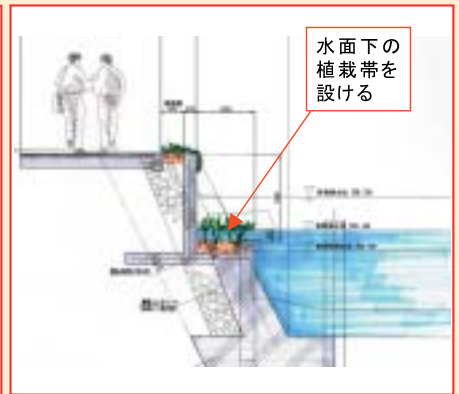
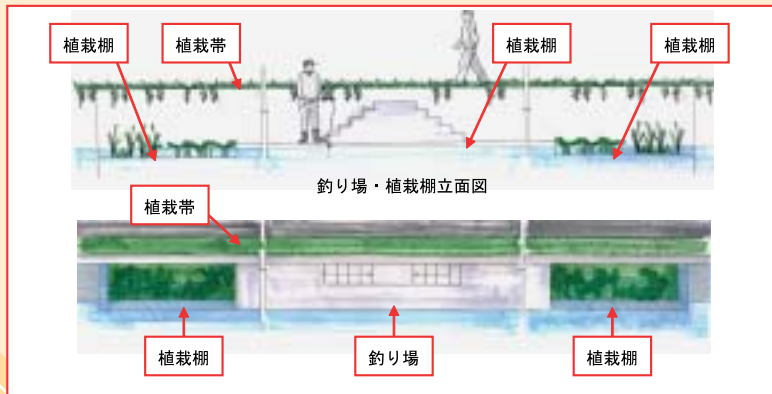
良好な河川環境や景観への配慮

良好な河川環境保全や地域の景観に配慮し、下記のとおり取り組みます。

- 天竜川の風物詩であり水生生物の指標ともなるザザ虫の生息調査や河川環境調査等を、漁業関係者と連携して実施します。
- 大学教授ら学識者から成る多自然川づくりアドバイザーから戴いたアドバイスを、河道改修に反映します。



舟渡川改修イメージ



地域連携による洪水被害の軽減

地域が連携して、いざという時にすぐに対応が出来るように、平時から下記に取り組めます。

- 災害時に必要な機材、資材を速やかに供給できる危機管理体制を構築します。
- 関係機関、地域住民と合同防災訓練を実施します。
- 浸水想定区域図に基づく洪水ハザードマップの提供を支援します。
- シンポジウムやパンフレットなどを通じて、河川整備に関する情報を地域住民に提供します。
- 各機関連携のもと「水害に強いまちづくり協議会」を設立し、着実かつ効果的な減災対策を推進します。

飯田市と国土交通省による合同防災訓練【H18.5実施】



天竜川シンポジウム



ソフト対策による情報の速やかな伝達

水位監視等洪水状況をよりよく把握するとともに、水防活動、避難が迅速に行えるように下記に取り組みます。

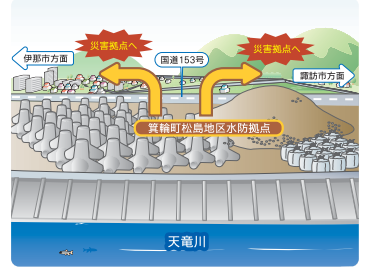
- 諏訪湖周辺において災害情報相互通報システムを構築します。
- 天竜川では、CCTVカメラを増設し映像をインターネット等で提供します。

水位監視システムのイメージ

- 新規水位監視カメラ(予定)
- 既設水位監視カメラ
- 雨量観測
- 新設水位計所(テレメーター)
- 既設水位計



水防拠点イメージ



水防拠点(大型コンクリートブロックや盛土材等のストックヤード)を、国道153号に隣接して設置することで災害時の緊急復旧活動を迅速に行うことが可能となります。

災害情報相互通報システム整備イメージ

